



**KANSAI
UNIVERSITY**

教職支援センター一年報

2015

関西大学 教育推進部
教職支援センター

『教職支援センター年報 2015』目次

投稿原稿

<小論文>

- ループリックを活用した初年次のレポート指導 関西大学文学部教授 安藤 輝次・・・ 1
中学校社会科地理的分野における苦手意識の偏在状況と
その改善に向けた提案 京都教育大学教授 香川 貴志・・・ 7

<報告>

- 「アクティブ・ラーニング」の実践からの教員の資質
についての考察・報告 非常勤講師 尾崎 進・・・ 12
今、教職を目指す人たちに伝えたいこと－「教職実践演習」
の授業を中心に 非常勤講師 椎口 育郎・・・ 19
報告 大学生のための国語教室－国語科教育法の課題 非常勤講師 榊井 英人・・・ 32

<教職支援センター特任教授からの報告>

- 教育実習に関する指導について ～国語を例として～ 特任教授 小野満由美・・・ 38
「教職実践演習」についての一考察 その2
－『課題別グループ研究及び報告会』－ 特任教授 北井 宏昌・・・ 44

1. 教員の養成の目標

- 関西大学教職支援センターの基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

2. 教員の養成に係る組織

- 教員の養成に係る組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
教職支援センター規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

3. 教員の養成に係る授業科目

- 教職に関する専門教育科目および科目担任者一覧・・・・・・・・・・・・ 51

4. 教員免許状の取得の状況

- 各学部・大学院で取得できる教員免許状の種類・免許教科・・・・・・・・ 56
介護等体験 参加者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
中学校・高等学校教育実習生数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
教員免許状取得状況・免許取得者数一覧（学部・大学院）・・・・ 60
教員免許取得までの諸手続き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67

5. 教員への就職の状況

- 教員採用試験合格者状況・合格者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
教員採用試験「大学推薦」の応募状況・合否結果・・・・・・・・・・・・ 71

6. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

- 中期行動計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72

介護等体験事前指導について	73
2年次生対象「教育実習受講希望者ガイダンス」について	74
3年次生対象「教育実習ガイダンス」について	76
教員養成フォーラムについて	78
教員採用試験合格者との情報交換会について	80
教職専門科目担当者研究会について	82
教員採用試験合格者壮行会について	83
教員採用試験に向けて～支援制度を積極的に活用しよう～	84
教員採用試験 面接対策セミナー	86
教員採用試験 受験案内一覧	87
教員採用試験対策スケジュール	89
教職支援センター 利用状況	90
教職関係ガイダンス日程	92
教育実習出向指導校一覧	93
教職支援センターと初等教育学専修との連携について	96
教員養成のための豊能地区3市2町教育委員会との連携協力について	97
7. その他	
教員免許状更新講習一覧	98
教職支援センター年報 投稿規程・執筆要領	99
教職支援センター委員会委員名簿	101

教育実習に関する指導について ～国語を例として～

教職支援センター 特別任用教授 小野 満由美

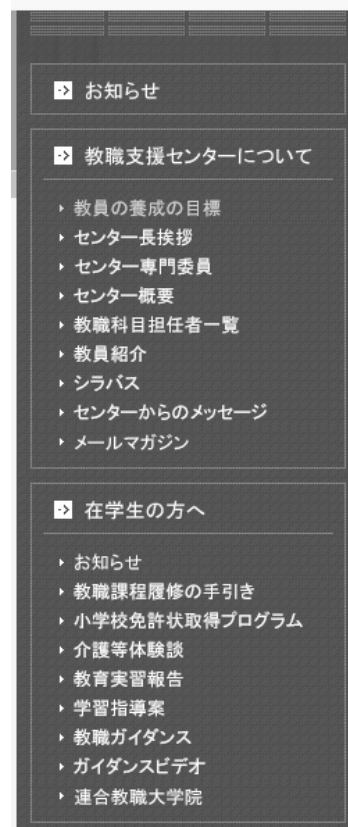
1. はじめに

教職支援センターは、「教員養成段階から、卒業後の教職生活までを一つの過程として捉え、教員として必要な資質能力の開発や実践的指導力の養成、教員採用試験対策等の就業支援、教員免許状更新講習の企画・実施等をカバーする教員養成の拠点形成として開設された。」（教職支援センターHP／センター長挨拶）。

教職支援センターに所属する私は、教職をめざす学生の相談・指導にあたるのはもちろん、教職に関する授業を担当し、教員として必要な資質能力や実践的指導力の養成に携わっている。担当する教職に関する科目は、「教職概説」「国語科教育法（一）（二）」「教育実習事前指導」「教育実習（二）」「教職実践演習（中等）」である。今年度（平成 27 年度）、はじめて春学期に「教育実習（二）」、秋学期に「教職実践演習（中等）」を担当した。すなわち、昨年度の「国語科教育法（一）（二）」、「教育実習事前指導」に引き続き、「教育実習（二）」、「教職実践演習（中等）」を担当し、国語の教員をめざす学生（一部）を一貫して指導することになったのである。

また、教職をめざす学生の就業支援として、教員採用試験対策の面接指導等を行っている。平成 28 年 4 月 22 日現在の今年度の教員採用試験合格者(実人数)は、132 名(小学校 45 名、中学校 37 名、高等学校 50 名)である（本人からの報告に基づき教職支援センターで確認した合格者数）。国語の合格者は、中学校 6 名、高等学校 13 名であり、中学校・高等学校合格者総数に対する国語合格者の比率は、21.8%である（表 1 参照）。また、過去 5 年間の国語の合格者数の推移は、<表 2>のとおりである。

本稿では、国語の教員をめざす教育実習生を担当している関係上、国語を例として、教育実習に関する指導について報告する。



<教職支援センターHP>

<表 1> 平成 27 年度 教科別合格者数 (実人数) (平成 28 年 4 月 22 日現在) (単位: 人)

校種	英語	国語	数学	社会		理科	保健 体育	中国 語	情報	工業	合計
				地歴	政経						
中学校	14	6	3	5		4	5	—	—	—	37
高等学校	7	13	4	11	1	7	1	1	4	1	50
計	21	19	7	17		11	6	1	4	1	87
合格者の 比率	24.1%	21.8%	8.0%	19.5%		12.6%	6.9%	1.1%	4.6%	1.1%	99.7%

＜表2＞ 教員採用試験における国語の合格者数推移（実人数）（単位：人）

年度 校種	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
中学校	5	2	4	0	2	2	8	0	5	1
高等学校	4	2	4	3	1	1	6	3	9	4
小計	9	4	8	3	3	3	14	3	14	5
計	13		11		6		17		19	

2. 教育実習の課題

本学では、毎年、約500から600名近い学生が教員免許状を取得しており、国語の教員免許状取得者数は、約100～150名である（表3参照）。中には、民間企業に就職したが、何年か後に教員になりたいと思って、教員になる学生もいるが、大半の学生は教員免許状を取得するだけというのが現実である。

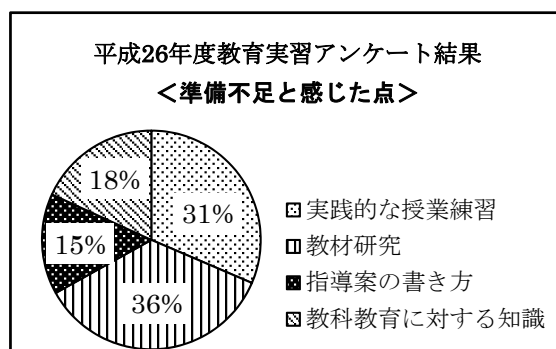
実際、今年度、私が担当した「教職実践演習（中等）」受講者39名のうち、教員になるのは3分の1の13名、あとの3分の2は、免許は取得するが、教職には就かず、民間企業等に就職する。

＜表3＞ 教員免許状取得者数（単位：人）

免許種類	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
免許取得者総数	451	523	574	579	552
中学校一種（国語）	60	59	45	50	64
高等学校一種（国語）	73	79	56	68	74
計	133	138	101	118	138
中学校専修（国語）	3	5	4	4	6
高等学校専修（国語）	5	5	4	6	6
計	8	10	8	10	12
国語免許取得者 合計	141	148	109	128	150
国語免許取得者の比率	31.3%	28.3%	19.0%	22.1%	27.2%

教職をめざす学生にとって、4年次の「教育実習」は、学校教育の現実に触れながら、大学で学んだことを実践することによって、実践的指導力を身に付ける良い機会である。しかし、教育実習は、教員になる夢に向かって期待がふくらむ一方で、学習指導案どおりにうまく授業が進むのかとか、生徒とのコミュニケーションがうまく取れるのかなど、不安がつきまとうものである。

「平成26年度教育実習アンケート結果＜準備不足と感じた点＞」を見ると、実習生自身が、実習に際して準備不足だと感じたのは、「実践的な授業練習」31%、「教材研究」36%、「指導案の書き方」15%、「教



科教育に対する知識」18%である。

また、実習生を受け入れる実習校からは、出向指導などの際に、次のような指摘を受けている。教科指導では、①教科の専門知識に乏しい（特に高校）。②教材研究が不足。③学習指導案がまともに作成できない。④板書計画ができていない。⑤声が小さく説明の音が後ろの席まで届かない。⑥生徒とまともに会話ができない（コミュニケーション力の不足）。⑦大学での模擬授業が不足しており、教授方法がぎこちない。などの指摘があり、実習生の「準備不足と感じた点」と一致している。

その他、①学校で取り組まれている様々な教育活動における教員の役割の一部を実際に実習として担うことに消極的で、学校全体の役割を理解しようとする姿勢に欠ける。例えば、実習期間中、学習指導案の作成等で実習生の控室に閉じこもってしまい、学校内の諸活動の様子を見ようとしない。②学ぶ意欲が弱く、自ら課題を発見し、教師になるために自ら課題を克服していこうとする姿勢に欠ける。などの指摘もある。

実習生を送り出す大学は、教員免許状を取得するが、教職に就かないという多数の学生も実習することを踏まえて、実習生が教育実習の目的や意義を充分理解し、積極的に実習に取り組む姿勢および基礎的な実践的指導力を育成しなければならない。

3. 教職支援センターにおける教育実習に関する指導

本学では、毎年、約 600 名が教育実習を行っている（表 4 参照）。教育実習にあたっては、2 年次 2 回、3 年次 2 回、計 4 回の教育実習に関するガイダンスを実施している。特に、実習直前の 3 年次 3 月に行われるガイダンスでは、「教育実習・教職実践演習の手引き」を配布して、教育実習の目的や意義を理解し、教育実習への問題意識を高め、熱意と自覚をもって実習に臨むよう指導している（表 5 参照）。

教職支援センターには、教育実習時に作成された過去 6 年分の各教科の学習指導案が保管されており、いつでも閲覧できる。教職支援センターの HP 上にも、教職課程を履修している 2、3

＜表 4＞ 教育実習人数 (単位：人)

年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
実習総数	598	590	572
教育実習総数	598	590	572
中学校で実習（国語）	33	28	31
高等学校で実習（国語）	20	37	30
中高一貫校で実習（国語）	8	10	23
国語での実習 合計	61	75	84
総数に対する国語の比率	10.2%	12.7%	14.7%

＜表 5＞ 教育実習に関わるガイダンス等

年次	時期	ガイダンス等
1 年次	3 月	新 2 年次生対象 教育課程ガイダンス
2 年次	6 月	教育実習受講希望者ガイダンス①
	3 月	教育実習受講希望者ガイダンス②
3 年次	9 月	「教育実習事前指導」の受講(15 回)
	10 月	教育実習受講希望者ガイダンス③
	3 月	新 4 年次生対象 教育実習受講者ガイダンス
4 年次	4 月	「教育実習直前指導」の受講(6 回)
	5 月～	教育実習の実施（9 月～実施もある）
	6～7 月	「教育実習事後指導」の受講(3 回)
	9 月	「教育実習演習(中等)」の受講(15 回)
	11 月	「教員課程・教員養成フォーラム」

年次生や教育実習を控えた4年次生が活用できるよう、教育実習報告や学習指導案などをアップし、実習をサポートしている。

また、教育実習担当者会議を教育実習前（春学期が始まる前）と教育実習後（春学期授業終了後）の2回開催し、情報交換・情報共有を行うことによって、教育実習における状況把握と指導の改善に努めている。教育実習担当者は、教育実習が実習校にとっても実習生にとっても有意義なものになるよう指導し、実習生を送り出している。

4. 教職に関する科目における教育実習指導

教職に関する科目のうち、「教育実習事前指導」、「教育実習（二）」、「教職実践演習（中等）」については、同じ担当者が1年半に亘って共通シラバスで指導を行っている。また、教育実習担当者会議において情報共有し、教育実習担当者と教職支援センターが一体となって指導に当たっている。2. で述べた実習生自身が、実習に際して準備不足だと感じた「実践的な授業練習」、「教材研究」、「指導案の書き方」の育成については、「教育実習事前指導」、「教育実習（二）」において、教育実習担当者が共通認識をもって必要最小限の実践的指導力や主体的に取り組む姿勢の育成に努めている。「教科教育に対する知識」の育成については、今後「教科に関する科目」との連携が必要である。

私は、上記科目に加えて、担当する「国語科教育法（二）」の授業においても、模擬授業や学習指導案作成の指導をする際には、教育実習を意識した指導をしている。今年度担当した「国語科教育法（二）」は受講者数35名であり、模擬授業の時間をたっぷりとることが難しい人数であった。しかし、模擬授業を経験しない受講者が出ることは避けたいと考え、15分程度の短時間ではあるが、受講者全員に模擬授業を行わせた。また、模擬授業をした次の授業では、学習指導案の書き方や模擬授業の内容について考察する場を設けた。

「教育実習事前指導」では、班ごとに模擬授業者を決め、模擬授業の時間を30分とし、「教育実習（二）」の直前指導では、50分授業を経験させた。教育実習に行くまでに、「国語科教育法（二）」、「教育実習事前指導」、「教育実習（二）」の授業を通して、短時間であっても必ず1回は模擬授業を経験させるよう努めた。その際、次の点に留意した。

- ① 学習指導案は、現代文の評論・小説・韻文、古典の古文・漢文など、さまざまな分野の教材について作成させた。「国語科教育法（二）」と「教育実習事前指導」で教材を変え、多くの教材を経験させた。
- ② 模擬授業の教材は、教育実習において実際に教壇実習した教材を用いた（表6参照）。
- ③ 学習指導案作成時には必ず板書計画を作成させ、板書計画の重要性を認識させた。
- ④ アクティブラーニングや言語活動などを取り入れた授業展開を意識させた。
- ⑤ 模擬授業の観察を通して、自分ならどのように指導するか、意見交換の場を設け、模擬授業の観察が、教育実習での授業観察につながるよう工夫した。

また、教育実習への意識を高めるため、「教育実習事前指導」の授業では、今年度、教員採用試験に合格した学生から教育実習や教員採用試験受験の経験談を聞く機会を設けた。教育実習直前の「教育実習（二）」の授業においては、教育実習の目標を設定させ、目的意識をもって実習に参加させた。実習後はその目標が達成できたかどうかを検証したレポー

トを提出させた。「教職実践演習（中等）」では受講するにあたり、各自、自己評価票を記入し、「教職実践演習において解決したい課題、補うべき資質能力」について「研究課題・研究テーマ」を決め、班ごとに発表させるとともに、各自レポートにまとめさせた。これらの取組みは、教育実習への意欲向上、自覚を持たせることを目的として行った。

5. 次年度に向けて

民間企業への就職活動が3月1日スタートしたが、採用面接などの選考開始が昨年より2か月前倒しの6月1日となり、新聞報道などによると、「売り手市場」だそうだ。その影響なのか、次年度の「教育実習」履修予定者は、488名（平成28年3月4日現在）であり、昨年度同時期の予定者数より137名減少している。就職活動に専念するか、教育実習に専念するか、あるいは両立させるか、教職支援センターに相談に来た学生もいた。就職活動に関する日程等の変更は今後もあるだろうから、就職活動か、教育実習かの選択を迫られることは、今後も起こりうる。また、来るべき教員採用人数減少期に備えた指導の充実も必要である。

教育実習担当者が大切にすべきは、教育実習の在り方がどのように変わろうとも、実習生が自ら課題を発見し、教師になるために自ら課題を克服していこうとする姿勢をもって、積極的に実習に取り組むよう育成することである。

＜表6＞ 過去3年間の教育実習研究授業時の国語教材一覧

校種	ジャンル	教材	作者	教科書	H27	H26	H25
中1	物語	にじの見える橋	杉みき子	光村図書	1	1	
	物語	遠い山脈	杉みき子	東京書籍	1	1	
	物語	オツベルと象	宮沢賢治		1	1	
	物語	さんちき	吉橋通夫	東京書籍	1	1	1
	物語	星の花が降るころに	安東みきえ	光村図書		1	2
	物語	暗やみの向こう側	今江祥智	教育出版		1	
	物語	雪とバイナッブル	鎌田實	光村図書		1	1
	物語	空中ブランコ乗りのキキ	別役実	三省堂			1
	説明	ちょっと立ち止まって	桑原茂夫	光村図書	5	4	3
	説明	花の形に秘められたふしぎ	中村匡男	教育出版	1	1	1
	説明	水田の仕組みを探る	岡崎稔	三省堂		1	
	説明	ダイコンは大きな根？	稲垣榮洋	光村図書			1
	説明	オオカミを見る目	高槻成紀	東京書籍			4
	記録	シカの「落ち橋拾い」 —フィールドノートの記録から	辻大和	光村図書	1		1
	随想	この小さな地球の上で	手塚治虫		1		
	随筆	江戸からのメッセージ	杉浦日向子	光村図書			1
	詩	はじめての詩、詩四編	荒川洋治	光村図書	3		
	言葉	言葉を集めよう		光村図書			1
	古文	犬と肉のこと、鳩と蟻のこと（『伊曾保物語』）				1	
	中2	小説	アイスプラネット	椎名誠	光村図書	2	1
小説		卒業ホームラン	重松清		3		2
小説		走れメロス	太宰治	三省堂	1		
小説		カメレオン	アントン・チェーホフ 原卓也 訳	東京書籍		1	
小説		サーカスの馬	安岡章太郎			1	
小説		夏の葬列	山川方夫			1	
小説		盆土産	三浦哲郎			1	
小説		タオル	重松清				1
物語		旅する絵描き—バリからの手紙	伊勢英子	光村図書	1		
物語		つみきのいえ	平田研也	教育出版	1		
説明		やさしい日本語	佐藤和之	光村図書	4	1	1
説明		食の世界遺産—鯉節	小泉武夫	東京書籍	1		1
評論		若者が文化を創造する	河合雅雄	学校図書		1	
随筆		字のない葉書	向田邦子	東京書籍			1
詩		明日	谷川俊太郎	光村図書	1		
短歌		新しい短歌のために・短歌十二首	馬場あき子	光村図書	3	3	2
短歌		短歌五首		東京書籍		1	
情報		メディアと上手に付き合うために	池上彰	光村図書		2	1
読書		小さな労働者		東京書籍		1	
漢字1		熟語の構成		光村図書	1		

校種	ジャンル	教材	著者	教科書	H27	H26	H25
中3	小説	握手	井上ひさし	光村図書	1		
	小説	楽隊のうさぎ	中沢けい		1		
	小説	羅生門	芥川龍之介			1	
	小説	みどり色の記憶	あさのあつこ	教育出版			1
	小説	風の唄	あさのあつこ	東京書籍			1
	小説	形	菊池寛	三省堂			1
	説明	テクノロジーと人間の付き合い方	池内了	東京書籍	1		
	説明	テクノロジーと人間らしさ	黒崎政男	光村図書		1	
	説明	冥王星が「準惑星」になつたわけ	小久保英一郎	三省堂			1
	詩	猿蓑～原爆の写真によせて～	渡部潤一			1	
	俳句	俳句十六句	石垣りん	光村図書			1
	書く	批評文を書く					1
	話す・聞く	「批評する言葉」から「少年一海」へ					1
	古文	自分の魅力を伝えよう	光村図書	1			
	古文	君待つと一万葉・古今・新古今	光村図書			2	
	古文	孝行恋愛	橘成季				1
	漢文	基本の古典(古文・漢文)(『古今著聞集』)		尚文出版		1	
	小説	城の嶺にて	志賀直哉	数研出版	1		
	小説	羅生門	芥川龍之介		1	3	
	小説	外科室	泉鏡花				1
評論	水の東西	山崎正和		2			
評論	溜池の力					1	
評論	科学・技術・社会	池内了	数研出版		1		
評論	働くことの意味	内田樹	明治書院			1	
評論	ふたつの誤り	福岡伸一	筑摩書房			1	
評論	ネットが萌す公私の境	黒崎政男	三省堂			1	
評論	思想と向き合う	鹿野政直	明治書院			1	
評論	ことばとは何か	内田樹	筑摩書房			1	
評論	待つということ	鷲田清一				1	
随筆	自分色	落合恵子				1	
詩	「道程」	高村光太郎	第一学習社	1			
古文	「I was born」	吉野弘				1	
古文	原のそら鷹 (『宇治拾遺物語』)		東京書籍	1	2		
古文	絵仏師良秀 (『宇治拾遺物語』)					1	
古文	尼、地蔵を見奉ること (『宇治拾遺物語』)					1	
古文	つれづれなるままに (『徒然草』)	兼好法師	三省堂	1			
古文	ある人、戸衝ことを習ふに (『徒然草』)	兼好法師				1	
古文	これも仁和寺の法師 (『徒然草』)	兼好法師				1	
古文	九月二十日のこと (『徒然草』)	兼好法師	東京書籍	1			
古文	筑紫に、なにがしの押領使 (『徒然草』)	兼好法師	東京書籍		2		
古文	丹波に出雲といふ所あり (『徒然草』)	兼好法師				1	
古文	古典文法・形容詞・形容動詞					1	
古文	門出 (『土佐日記』)	紀貫之				1	
古文	帰京 (『土佐日記』)	紀貫之				1	
古文	かぐや姫の生い立ち (『竹取物語』)					1	
古文	かぐや姫誕生 (『竹取物語』)		筑摩書房	1			

校種	ジャンル	教材	著者	教科書	H27	H26	H25
高1	古文	筒井筒 (『伊勢物語』)		第一学習社	1		1
	古文	赤下り (『伊勢物語』)		筑摩書房			2
	古文	おぼすて山 (『大和物語』)					1
	漢文	漢文入門		数研出版			1
	漢文	五十歩百歩 (『孟子』)		三省堂			1
	漢文	蛇足 (『戦国策』)	劉向	明治書院			1
	漢文	故事成語(『借虎威』、『朝三暮四』)		三省堂			1
	小説	カンガルー日和	村上春樹	東京書籍	1		
	小説	山月記	中島敦	東京書籍	2	7	
	小説	貧の意地	太宰治	筑摩書房	1		
小説	水かまきり	川上弘美				1	
小説	涙の贈り物	レバッカ・アラウン	三省堂			1	
評論	神話する身体	安田登	筑摩書房	1			
評論	行動としての話し言葉	竹内敏晴	桐原書店	1			
評論	なぜ私たちは労働するのか	内田樹	三省堂	1			
評論	科学的「発見」とは	小川眞里子	東京書籍	1			
評論	ミロのヴァーナス／手の愛幻	清岡卓行			2	1	
詩	永訣の朝	宮沢賢治				1	
古文	歌ゆゑに命を失ふ事 (『沙石集』)	無住法師	第一学習社	1			
古文	春はあけぼの (『枕草子』)	清少納言				1	
古文	中納言参り給ひて (『枕草子』)	清少納言				1	
古文	雪のいと高う降りたるを (『枕草子』)	清少納言				2	
古文	すまじきもの (『枕草子』)	清少納言	三省堂			1	
古文	帰京 (『土佐日記』)	紀貫之	第一学習社			1	
古文	忘れ具 (『土佐日記』)	紀貫之	三省堂			1	
古文	志度郡落ち (『平家物語』)	紀貫之	大修館書店			1	
古文	門出 (『更級日記』)	菅原孝標女	東京書籍	1			
古文	物語 (『更級日記』)	菅原孝標女			3		
古文	藤原為時、詩を作りて越前守に任せらるる語 (『今昔物語集』)					1	
古文	競べ弓 (『大鏡』)					1	
古文	花山天皇の出家 (『大鏡』)					1	
古文	かぐや姫の昇天 (『竹取物語』)					1	
古文	渚の浜 (『伊勢物語』)		東京書籍	1			
古文	いでや、この世に生まれては (『徒然草』)	兼好法師	第一学習社	1			
古文	百人一首					1	
漢文	性之善也、猶水之就下 (『孟子』(告子上))	孟子				1	
漢文	滿父碑 (『楚辞』)	屈原	東京書籍			1	
漢文	鴻門の会 (『楚辞』)	司馬遷	数研出版			1	
小説	枯野抄	芥川龍之介	第一学習社			1	
評論	自然と人間	村上陽一郎				1	
評論	名づけの魔力	佐々木健一				1	
古文	中納言参り給ひて (『枕草子』)	清少納言	東京書籍			1	
古文	宮に初めて参りたるころ (『枕草子』)	清少納言	第一学習社			1	

※ 網掛けの部分は、今年度の「国語科教育法 (一) (二)」 「教育実習事前指導」 「教育実習事前指導」 「教育実習 (二)」 で、学習指導案を作成させた教材である。